

創立昭和28年1月8日



人類に奉仕するロータリー

TANABE ROTARY



District 2640 田辺ロータリークラブ Club Weekly Bulletin

2016-17年度
国際ロータリーテーマ
「人類に奉仕するロータリー」
-ROTAR SERVING HUMANITY-
ジョン F. ジャーム R I 会長
国際ロータリー第2640地区
福井隆一郎 ガバナー

4つのテスト (FOUR WAY TEST)

- 言行はこれに照らしてから
- (1) 真実かどうか
 - (2) みんなに公平か
 - (3) 好意と友情を深めるか
 - (4) みんなのためになるかどうか

例会日 木曜日 12:30
例会場 紀伊田辺シティプラザホテル
会長 植田 英明
幹事 柏木 壽夫
会報委員長 松本 哲
<http://tanabe-rc.com/>

承認 昭和28年3月2日
事務所 〒646-0031
田辺市湊23-6
TEL 0739-24-2002
FAX 0739-26-0264
mail tanabe-rc@helen.ocn.ne.jp



「ポン・デュ・ガール(フランス)」
撮影 小川豊介会員

- 司会者
植田英明会長
- ソング
見上げてごらん夜の星を
- ゲスト
- ビジター

12月1日のプログラム

クラブ年次総会
会員卓話
東 冬彦 会員

12月8日のプログラム

会員卓話
辻 啓次郎会員

出席報告

	第3128回	第3129回	第3130回
会員数	86名	86名	86名
出席規定免除会員数	8名	8名	8名
出席計算会員数	83名	82名	82名
出席者	61名	68名	60名
出席率	73.49%	82.93%	72.29%
メイクアップ	8名	6名	
修正出席率	83.13%	90.24%	

お祝い

会員誕生日 多屋平、三前剛
配偶者誕生日 橘 恵子(一徳) 田中あき子(陽)
竹中加代美(幸一)
結婚記念日 坪井

ニコニコ箱

☆畑地さん、本日卓話よろしくお願ひ致します。……
……植田英、柏木
☆畑地さん、本日の卓話よろしくお願ひ致します。(プログラム委員長) ……中松
☆久方振りに卓話します。よろしくお願ひ致します。…
……畑地
☆畑地浩さん、本日の卓話楽しみにしています。……
木村頼、廣本、宮本、吉田透、田上、山本、植田芳、三前剛、
新藤、柴田、坪井、三谷、堅田、玉置、竹本、大木、濱口、橘、
瀬戸、伊賀、寒川、矢野、西嶋、池永、岩本、和田、脇村富、
竹内、松本、平尾、皆瀬、橋本、山路、都志見、住山、新井
☆畑地さん、卓話ががんばって下さい。……辻
☆畑地浩さん、卓話でご苦労さまです。期待しています。
……長野
☆畑地浩会員、一身上の都合で早退。格調の卓話を聴けず残念です。……渡部

☆会報に写真を載せてもらいました。……稲田静
☆今月のロータリーの友に、私の稚拙な短歌を載せて頂きました。ありがとうございます。……山路
☆第10回田辺・弁慶映画祭、無事終了する事ができました。本年は4000名を超える皆様に御参加頂きありがとうございました。……中田吉、玉井
☆先日ロータリーゴルフ大会で、久しぶりに優勝しました。参加者が少なかったおかげです。……中松
☆荷稻さんのおかげで事務所のイルミネーションが良くなりました。……稲田静

お知らせ

会長報告

- ・11月11日に行われました田辺・弁慶映画祭オープニングセレモニーへ松本哲会員に御出席頂きました。皆様には大勢御鑑賞頂きありがとうございました。
- ・11月23日田辺ライオンズクラブ認証45周年記念式典に出席致しました。
- ・米山寄付により山路 守会員が第1回米山功労者になりました。ロータリー米山記念奨学会より感謝状が届いていますのでお渡しします。

幹事報告

- ・現在のクラブジャンパーを持っていない会員が増えたため新しくクラブジャンパーを作成する予定です。会場の入り口の方にLサイズの見本を置いています。これよりサイズの記入表を回覧しますので、各自希望のサイズをご記入ください。
- ・田辺・弁慶映画祭実行委員会より礼状が届いています。
- ・12月のロータリーレートは、106円です。
- ・くちくまのクラブのシーカ、やおきジャーナル、ハイライトよねやま、ザ・ロータリアン、ロータリーの友英語版、近隣クラブの会報を回覧します。

委員会報告

親睦活動委員会

岩本浩典委員長

・12月1日夜6時30分より上屋敷「あしべ本店」にて田辺RC忘年会を行います。本日が最終のご案内となります。出欠表を回覧致します。大勢のご参加よろしくお祈り致します。

社会奉仕委員会

竹内正巳委員長

・次週木曜日12月1日の早朝7時半より8時半に世界エイズデー普及街頭啓発をJ R紀伊田辺駅前で行います。7時半ごろお集まり下さい。ご参加ご協力よろしくお祈り致します。

プログラム



会員卓話

『ロータリーと私』

畑地 浩会員

今日は！ 皆様ご存知のように田辺クラブはS 2 8年1月の創立です。父も若手としてチャーターメンバーに加えてもらっていました。そして私事ですが、私も青雲の志を持って東京の学校へ2年生の編入試験を受けて入ったのがS 2 8年でした。

当時の様子と申しますと、交通機関は東海道もSLで、沼津で電気機関車に切換えられる調子で、時間も今ならUS西海岸へ行く方が早く着く位でした。

田辺クラブもそういった中で設立されたわけで、初代会長の挨拶にあります、お互いに機会ある毎に他クラブに出席し、メイクアップするなり、地区大会に出席して、他クラブの良い所を吸収しようとの申し合わせをしていたようです。

父も東京に商売に来るたびにホテルにメーキャップにいらしたようですが、私もよく連れられて、ホテルニュージャパンや、赤坂プリンスなどのロータリーの例会に出て昼食を頂きました。

これが私とロータリーとの付き合い初めです。

当時のロータリアンは精気溢れると云うか、何か新しいものに取り組んでやるんだと云った感じを受けたのですが、戦後復興に燃えていたのがそうみえたのかもしれません。いつか一人前に近くなったらロータリーに入ってやろうと思ったものです。大学を卒業し、当時は「もう戦後ではない」と経済白書に書かれた如く、住宅ブームで良く儲かっていたのと、長男は家を継ぐものという祖父の寝物語の影響で、あまりためらいもなく帰ってきました。

そしてS 4 3年1 2月に田辺ロータリークラブに阪井先輩の紹介で入会させて貰いました。初めの内の所属は青少年委員会が程んどで、先輩方に遠慮し乍ら昭和会（笑和会という名にしたこともある）を作った時は5～6人のメンバーだったと思います。例会では先輩方が活発な意見発表をされるのをもの珍しく聞き入っ

ていました。誰彼なく、お互いに意見を発表し合う談論風発という言葉がピッタリのクラブだったと記憶にあります。

何年か後、木材雑誌の募集をみて、初めてヨーロッパ旅行に行く事になりました。先輩より聞いてDictionaryでロータリーの例会日時、場所を調べました。

最初メーキャップに行った所は、ストックホルムのグランドホテルでした。食事が先で、オープンサンドを選んで、ビールは別にお金を出したように思います。厚切りのスモークサーモンに舌鼓を打ち、ビールがあるのも良いものだなあとの印象でした。

次に西独ハンブルクの例会に出ました。アルスター湖の湖畔の立派なホテルでした。隣の男と何処から来たんか、などと単純な話をしていたのですが、その男が、“いつかドイツと日本が組んで、アメリカをやっつけてやろう、今度は負けへんで”と言ったのには驚きました。世界は広いというか、色んな人間が居るといふか、懲りないドイツ人を見た思いでした。帰り際に紙切れに Ich kannte nicht verstehn, aber alle Menschen weruden Bruder. とベートーベンの第九の一節を書いて渡すと、にやっとウインクを返してきました。

メーキャップはアメリカでも7～8回行きましたが、遠方から来た客には前に出て来いと呼ばれてバナーを交換し一言しゃべる機会を呉れるのですが、1度面倒になって日本語で挨拶したらポカンとして、何の反応もなく、やはり努力してでも和文英訳すべきだと悟りました。

世界大会にも海外で6度程行っているのですが、1983年(S 5 8年)には丁度向笠さん(九州の中津出身)が日本人として2人目のRI会長でした。

アメリカで木材検品が終るに合わせて、バンクーバーからツアーに参加したのですが、会場はトロントの2万人程入るバスケットかアイススケートの競技場でした。

世界大会ではご存知のようにまず国旗の入場から始まるのですが、ABC順に国旗がボーイスカウトの少年やボランティアの手で入場するのに、日の丸が一向に入っていない。Jが過ぎ、Nが過ぎ、いらいらしていると最後のどん詰まりに日の丸の旗が入ってきました。向笠会長に敬意を表してのことだったのでしよう。外国で日の丸をみると、感動するとよく言われますが、本当にその経験をさせてもらいました。

ロータリーの世界大会出席の楽しみの1つに地酒があります。

スコットランドで飲んだハイランドウイスキー、フランスのノルマンディ産のシードル(リンゴ酒)、メキシコで飲んだテキーラ、キューバのラム酒、アメリカ・カナダのバーボン、ライ麦で作ったライウイスキー等々いずれも現地で飲むと風土に合っているのか美味以上のこち良い、酔いかげんになれたものです。

国内のメーキャップも色々な事が体験出来ます。

私の経験では、藤山一郎さんがタクトを振っていたし、今も当クラブで時々唱うロータリーソングの

名曲“日も風も星も”は、東急文化会館へ行った時、世田谷クラブの古関裕二さんがこの歌の歌唱指導をしていました。作詩が大阪の料亭なだ万の楠本憲吉氏、作曲が戦后歌謡曲のヒットメーカー古関裕二さんです。

大阪では伊藤忠商事の越後正一社長も眼光鋭く座っていましたし、当田辺クラブへも東洋紡の伊藤英吉さん、住友化学の大谷社長さんなどそうそうたる大企業の上層部の方がガバナーとして見えるなどしていましたが、最近ほとんど聞こえてこないのは、どうしてだろうと不思議に思っている所でもあります。おそらくリーマンショック以降ロータリーを離れたのだろうと思うのですが、経費削減もありましょうが、ロータリーから吸収するものがなくなった、役割が終った、ステイタスを感じられない等々色々の理由があるように思うのであります。

私のロータリーが気に入っている理由の1つに、会の組織、運営に当り皆で、法律（定款、細則）を作り、自分達で、自分達を治めるルールを作り、これを遵守していくという方式であります。

規定審議会なるものを通して、自己改革というか自己変身というか、3年に1度この法律も見直し乍ら、進行して行くという点も気に入っています。

私の幹事の時に、ガバナーが公式訪問に来て、突然今後は“各クラブ共副会長を置かねばならん”と命令口調で言うのに会長と共に腹を立て、USAの知人より英文の定款細則を取りよせてみた事があります。

結局中味を読むだけ根気が続かなかったのですが、その時、定款は Constitution , 細則は By lawと呼ぶ事だけ知りました。Constitution = 憲法を改定し乍ら会を運営するという事に、日本の憲法を戦后70年間後生大事に守り続けているのと比較して、何か新鮮味を感じた次第です。

しかし昔と比べて、定款、細則も中味は大分、お追従形になっている感じがします。

例えばメーキャップは昔は前後1週間でしたが、今は前後2週間以内でOK、クラブとして年間4日間の休日OKなどなどです。

面白いもので、縛りをゆるくすると出席率が悪くなるという現実です。昔のように出席率の競争迄して出席率の悪い男には、退会を強制するクラブがあったりしたのも本末転倒で困りものですが、最近は昔と比べて出席率も7~8%は低いのではないのでしょうか。

定款の終りの方に調停、仲裁の項目があります。2人又は2組の意見が相反するとき、まず相方の意見を聞いて調停をするわけですが、それでも納得、解決せん時は、仲裁するとあります。

仲裁は紛争当事者がそれぞれ仲裁人を選び、選ばれた仲裁人がお互いの知っている裁定人を選ぶ、都合3人で行うことになっています。

そして仲裁人によって下された決定、もしくは両仲裁人が合意に達しなかった場合、裁定人による決定が最終であって当事者すべてに拘束力のあるものとなり提訴する事が出来ないとあります。

この仲裁人を選び、裁定人を互選して物事を決していく方式は、海事裁判（船のもめ事）にも取り入れら

れており、広く海外では普及しているようで、私も何かもめ事があればこの方式を使いたい、そして解決するのが良いと思っっているのですが、私も平和主義者のせいか、中々もめ事がなく、使った事がありません。

ロータリーの勧誘の売り文句に“ロータリーは色々な場（チャンス、機会）を提供するから、それを利用して、自分の修練に利用して呉れ”という名言があります。私はこれを中々上手な宣伝文句だと思っっているのですが、私自身このロータリーの場を最大限に利用させて貰った1人だなあと今つくづく自省している所でもあります。

昭和57年柏木会長のもとで幹事をやらせて貰いました。幹事をやるとクラブ内の動静が良くわかると言われたものです。

昭和63年会長を仰せ付けられました。丁度山長さんがガバナーの年度で、地区大会を文館でやり野球で交流のあった京都伏見の面々が応援に来て呉れているのに壇上から挨拶し乍ら、ロータリーの友情を感じました。

平成15年50周年記念委員長をやらせて貰いました。4~5年前から積立てていた2,400万円という予算を貰い、全会員参加の基に色々な事業が行われました。

一年近く練習した、ミュージカルは、出演者も含めて、多くの人々に喜びと感動を与えて呉れたと思いません。品物として後世に残るものと、記憶としてのみ残るもの、記念事業にも色々ある事を知りました。

平成21年村上ガバナーのもと地区大会委員長を仰せ付けられました。全会員一丸となって、地区内外から来られたお客様におもてなしをしました。

このように節目々々に大役を頂き、何とかやりとげられたのは何だったか、それは多くの田辺クラブの皆様ロータリアンに支えられて出来た事と、人世の終盤にさしかかり深い感謝と満足感にひたっております。

ロータリーで大勢の方々との友情を育み、多くの先輩に恵まれ、多くの後輩に守られている自分をつくづく幸福者だったと感謝の気持で一杯であります。

先日東京の80歳の同窓会へ行ってきました。中に1人威勢のいい友人がおりまして、昔は政府委員をしたり政策提言などをして中々活躍をしていたのですが、彼が言うには、最近の政府役人、大会社のTOP連中は、骨のある人間が少なく、ほとんどがイエスマンで、上層部に反抗せずにお説ごもつともで、引上げられて出世してTOPに登りつめたせいか、反骨精神に乏しく、旧態依然たる習慣など破る勇気がない、これで日本は大丈夫だろうか心配していました。偏差値を主体としての教育だけでは、物事の実破力というか、創造力がわかないというような事になるようで、日本も教育から鍛え直す必要があると云っていました。

折しも Brexit といわれるイギリスがEUを脱退する事とか、USAのトランプ氏が大方の予想を裏切つて大統領になる事とか、旧襲を破る動きというか、古い秩序に挑戦をする現象が見え始めています。来年には、ヨーロッパの主要国のフランス、ドイツ、イタリアでも選挙の年のようで、これらの国々でも大衆迎合

型の政治の流れが続くのか、どのような世界が今後展開されるのか、多いに興味の湧く所であります。

お隣の韓国では大統領の裁判がどうのこうのと言っているし、どうして一挙にこのような政治ニュースばかり賑やかになるのか、不思議に思っている今日この頃でございます。

まあもう少し長生きをさしてもらって、世の中がどのように変わっていくのか、見てみたい気持ちのするこのごろです。

以上長々とあっちへ飛び、こっちは飛びと下らん話にお付き合い頂き有難うございました。

ロータリーゴルフ 11月例会成績

11月20日(参加16名) 白浜GC

順位	氏名	グロス	ハンディ	ネット
優勝	中松 村夫	86	17	69
2位	岩本 浩典	77	3	74
3位	和田 茂生	81	5	76

※フェア賞 No.3-溝口、中松 No.6-岩本 No.15-長井、山本 No.18-廣本喜、山本

※次回は12月11日(日) スタート9:31 白浜GC

金子由佳さん近況報告

日本国際ボランティアセンター(JVC)エルサレム事務所・現地代表の金子由佳です。ロータリーの皆様には、当方が世界平和フェローとしてオーストラリアに留学したところから、大変お世話になっております。また、田辺RCを始め近隣RCの皆様には、2016年4月に講演会にお招きいただき、本当にありがとうございました。

私が働くパレスチナでは、イスラエルからの占領50年目を迎えています。難民条約のもととなった世界人権宣言が採択されて70年近くが経ちますが、世界中に散らばったパレスチナ難民には、未だに国への帰還権が保障されておらず、またパレスチナに残った人々も、日々占領者であるイスラエルからの物理的・構造的な暴力に晒され続けています。

例えば、現在グローバル補助金でご支援いただいているパレスチナのガザ地区では、200万人の市民のうち、7割の人が何らかの国際援助に頼らなければ生活できない状況におかれています。域内の失業率は恒常的に4割を超え、一次医療から高度医療サービスの質と量の不足により、多くの方が栄養失調や糖尿病は勿論、癌などでも適切な治療を受けられずに命の危機にさらされています。

また、2007年以降3度にわたって起きた軍事侵攻の影響で、インフラの破壊は勿論、残留兵器による汚染も深刻で、水質汚染や電気の不足も続いています。また子どもたちの精神ケアも圧倒的に不足しており、希望を失った若者たちの自殺も後を絶ちません。こうした事もあり、2013年に発表された国連報告書によれば、2020年までにガザは人が住めなくなるという見解が示されています。ガザの人々は400km²の狭い地域に閉じ込められ、外の世界に出る事も許されていません。パレスチナ人の権利の剥奪は、正に今日も続いています。

こうした厳しい状況において、JVCでは1993年より現地の人々に寄り添い、イスラエル・パレスチナ人の平和に向けた活動と、パレスチナ社会の開発支援を続けています。また現在もこうした活動が出来るのは、何よりロータリーの皆様による直接的なご支援によるところが大きいと感じています。昨年ロータリーグローバル補助金でご支援いただいたガザ子どもの栄養失調改善事業では、対象地域の子どもの栄養状態が7割も改善しました。また活動を手伝ってくれるボランティアさんたちからも「尊厳を持って活動できるようになった」「地域の人々のために働けることが嬉しい」という言葉が聞こえてくるようになりました。

困難は多いですが、JVCは現地の人々と共に活動を続けて参ります。引き続き、ご支援の程宜しくお願い致します。

JVCパレスチナ事業現地代表
金子 由佳 (ロータリー世界平和フェロー8期生)



ガザの子どもの栄養失調予防事業：調理実習の様子



調理実習に参加した子供の様子



家庭訪問で栄養補助剤を与えるボランティアさんと子どもの様子